



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月13日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL http://www.torex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤阪 知之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業戦略室長 (氏名) 木村 浩 TEL 03-6222-2875
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,383	5.0	1,024	△6.3	1,340	23.5	881	△23.4
26年3月期第3四半期	7,033	—	1,093	—	1,085	—	1,151	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,176百万円 (△13.9%) 26年3月期第3四半期 1,366百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	334.28	326.58
26年3月期第3四半期	502.26	—

(注) 当社は、平成25年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	12,769	10,492	81.8	3,941.56
26年3月期	10,800	7,904	72.9	3,433.14

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 10,447百万円 26年3月期 7,869百万円

(注) 当社は、平成25年12月16日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年3月期	—	50.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

27年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,900	5.4	1,420	0.4	1,500	12.0	1,100	△18.9	416.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	2,650,700株	26年3月期	2,292,100株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	－株	26年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	2,637,143株	26年3月期3Q	2,292,100株

（注）当社は、平成25年12月16日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は堅調な回復過程にあり、欧州も景況に不透明感はあるものの緩やかな回復傾向を維持した一方、中国やブラジル等の新興国経済の成長鈍化等の先行きが不透明な要素も見られました。

わが国経済におきましては、個人消費が消費税増税後の落ち込みからの回復にもたつき、輸出の伸びも勢いを欠く中、経済政策や金融政策を背景に企業収益や設備投資の改善が自律的な回復へとつながりつつあります。

半導体業界におきましては、スマートフォンやタブレット型端末、環境対応製品などの市場拡大、自動車や産業機器向けの需要の伸びなどにより、引き続き堅調な成長を続けております。

このような環境のなかで、当社グループは、「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」という経営理念のもと、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・産業機器、車載機器等の市場を重点分野として位置付け、お客様への積極的なソリューション提案を通じて、新規商談の獲得に努めました。
- ・ビジネスユニット制の下で、各ユニット毎に機動的な製品の企画・開発を実行してまいりました。
- ・製品開発、製造、マーケティングにおいて戦略的アライアンスを継続し、OEM製品の拡充や新製品の開発を進めました。
- ・有力メーカーに比肩する高収益体質の実現に向けて、関連部門の相互協力によって高付加価値のビジネスに注力する戦略を進め、利益率の維持向上に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高73億83百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益10億24百万円（前年同期比6.3%減）、経常利益13億40百万円（前年同期比23.5%増）、四半期純利益8億81百万円（前年同期比23.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に車載機器、産業機器等の分野向けの売上が増加した一方、家電、情報機器等の分野向けの売上が低迷したことにより、21億25百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

②アジア

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主にデジタル家電、車載機器、情報機器、家電、産業機器等の分野向けの売上が増加した一方、PC機器等の分野向けの売上が低迷したことにより、42億72百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

③欧州

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に家電、産業機器等の分野向けの売上が増加したことにより、5億2百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

④北米

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に家電、産業機器等の分野向けの売上が増加したことにより、4億83百万円（前年同期比29.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は107億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億09百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4億82百万円増加、受取手形及び売掛金が2億24百万円増加、有価証券が5億円増加したことによるものであります。固定資産は20億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億59百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が1億45百万円増加、投資その他の資産が4億65百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、127億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億68百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は18億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億90百万円減少いたしました。これは主に短期借入金10億4百万円減少、支払手形及び買掛金が2億6百万円増加、未払法人税等が2億44百万円増加したことによるものであります。固定負債は4億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に社債に係る負債が48百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、22億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億18百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は104億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億87百万円増加いたしました。これは主に公募増資による資金調達16億10百万円、四半期純利益8億81百万円、剰余金の配当2億23百万円及び円安に伴う為替換算調整額2億74百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は81.8%（前連結会計年度末は72.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月14日の「平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び平成27年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,646,537	6,128,844
受取手形及び売掛金	1,844,655	2,068,776
有価証券	—	500,000
たな卸資産	1,618,415	1,759,620
その他	301,617	266,288
貸倒引当金	△918	△3,990
流動資産合計	9,410,307	10,719,539
固定資産		
有形固定資産	994,173	1,042,499
無形固定資産	43,084	188,839
投資その他の資産	353,076	818,746
固定資産合計	1,390,334	2,050,085
資産合計	10,800,641	12,769,624
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	718,351	924,718
短期借入金	1,008,165	3,552
1年内返済予定の長期借入金	17,489	—
1年内償還予定の社債	96,000	96,000
未払法人税等	119,297	363,951
賞与引当金	99,742	37,111
その他	354,201	397,836
流動負債合計	2,413,247	1,823,170
固定負債		
社債	108,000	60,000
退職給付に係る負債	183,912	205,710
役員退職慰労引当金	6,000	6,600
その他	184,736	181,638
固定負債合計	482,648	453,948
負債合計	2,895,896	2,277,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	984,780	1,802,643
資本剰余金	3,451,754	4,269,617
利益剰余金	3,415,983	4,073,595
株主資本合計	7,852,517	10,145,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	738	11,632
為替換算調整勘定	15,862	290,417
その他の包括利益累計額合計	16,600	302,049
少数株主持分	35,627	44,599
純資産合計	7,904,745	10,492,505
負債純資産合計	10,800,641	12,769,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,033,538	7,383,763
売上原価	3,805,718	3,791,224
売上総利益	3,227,819	3,592,538
販売費及び一般管理費	2,134,486	2,568,182
営業利益	1,093,333	1,024,355
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,397	4,950
為替差益	29,000	338,399
ロイヤリティ収入	5,237	4,001
その他	7,273	5,600
営業外収益合計	45,909	352,951
営業外費用		
支払利息	18,089	3,574
事業整理損	28,640	—
株式公開費用	—	24,726
その他	6,627	8,289
営業外費用合計	53,357	36,589
経常利益	1,085,886	1,340,717
特別損失		
保険解約損	15,396	—
特別損失合計	15,396	—
税金等調整前四半期純利益	1,070,489	1,340,717
法人税等	△81,921	456,572
少数株主損益調整前四半期純利益	1,152,411	884,144
少数株主利益	1,171	2,583
四半期純利益	1,151,239	881,561

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,152,411	884,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450	10,894
繰延ヘッジ損益	37,958	—
為替換算調整勘定	175,432	281,523
その他の包括利益合計	213,841	292,418
四半期包括利益	1,366,252	1,176,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,361,194	1,167,590
少数株主に係る四半期包括利益	5,057	8,972

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年4月8日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場いたしました。上場にあたり、平成26年4月7日に公募増資による払込が完了し、資本金及び資本剰余金(資本準備金)がそれぞれ805,000千円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	2,055,730	4,176,405	428,446	372,956	7,033,538	—	7,033,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,454,256	344,055	28,297	24,267	4,850,876	△4,850,876	—
計	6,509,986	4,520,461	456,743	397,223	11,884,414	△4,850,876	7,033,538
セグメント利益	1,009,128	80,338	12,580	8,590	1,110,636	△17,303	1,093,333

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△17,303千円には、セグメント間取引消去△9,688千円、のれんの償却額△7,614千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。電子部品の販売においては、デザイン・イン・ベースと、当社の製品が納品されて電子機器等の製造に使用される地域(シフト・イン・ベース)とが異なることがあります。セグメント情報においてはシフト・イン・ベースで地域別の情報を集計しておりますが、デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	3,182,746	2,306,476	977,412	566,902	7,033,538

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	2,125,398	4,272,110	502,296	483,958	7,383,763		7,383,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,643,835	373,602	37,496	10,904	5,065,838	△5,065,838	
計	6,769,233	4,645,712	539,792	494,862	12,449,602	△5,065,838	7,383,763
セグメント利益	930,500	100,972	△4,083	9,584	1,036,973	△12,618	1,024,355

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△12,618千円には、セグメント間取引消去△7,403千円、のれんの償却額△5,214千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。電子部品の販売においては、デザイン・イン・ベースと、当社の製品が納品されて電子機器等の製造に使用される地域(シフト・イン・ベース)とが異なることがあります。セグメント情報においてはシフト・イン・ベースで地域別の情報を集計しておりますが、デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	3,199,230	2,400,566	1,192,005	591,960	7,383,763

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。